

JET からの手紙

世界に知られていない日本

三重県松阪市産業文化部観光交流課 国際交流員
Jeremy Ang (ジェレミー・アン)

隠れた宝石

東京、京都、大阪などは、ほとんどの訪日客にとっては必見の観光地でしょう。しかし、日本を楽しめる場所はこれらに限られません。日本には至る所に隠れた宝石があります。この言葉に同感する JET プログラム参加者は多くいると思います。この機会に、松阪市の魅力を通じて、日本にはあまり知られていない魅力的な場所が溢れていることを伝えたいです。

お肉のまち

私の配属先は「お肉のまち」と呼ばれる三重県の松阪市です。松阪市は奈良県の東部とつながり、大阪駅から特急に乗れば、2時間で到着します。

国際交流員（CIR）の業務はそれぞれ異なりますが、私は松阪市役所の「観光交流課」に勤めていて、主な仕事

はインバウンド（訪日客）の誘客推進や国際交流に関する取り組みです。例えば、観光パンフレットやメニューの翻訳、モニターツアーでの通訳、毎月シンガポールの文化を紹介するコラムの執筆、英会話講座の実施などです。



松阪牛

海外の方は「和牛」と聞くと、「神戸牛」が頭に浮かびがちでしょう。日本には神戸牛と肩を並べる和牛ブランドがたくさんあります。その一つが神戸牛と同じく、日本三大和牛の一つ「松阪牛」です。松阪牛は脂肪融点が低く、人の手の温度でもすぐに溶けてしまうという特徴があります。そのうえ、



松阪市のソウルフード
「鶏焼き肉」

焼くと「和牛香」という甘く香ばしい上品な香りが広がります。

松阪市が「お肉のまち」と呼ばれているのは、牛肉だけではなく、美味しい豚肉や特徴のある鶏肉の食べ方があるからです。実は、松阪市のソウルフードは松阪牛ではなく、「鶏焼き肉」



シンガポールの旅行会社が松阪市でモニターツアーを行った時の通訳風景

というB級グルメです。鶏焼き肉は手頃で美味しくて、私自身もこの料理の虜（とりこ）になりました。もし松阪市を訪れる機会があれば、ぜひお肉を食べてみてください！ Let's meat at Matsusaka!

松阪市での生活

私の故郷のシンガポールは、東京のような騒がしい都会なので、松阪市のような比較的便利で静かな街に配属されてよかったです。一見、ここは楽しめるところが少ないように見えますが、実は、隠れたおしゃれなカフェや体験施設、豊



2月末～3月中旬の見どころ
「笠松河津桜ロード」

富な自然、農家民泊などもあります。市民の方々はすごく親切で、皆さんにはお世話になりっぱなしです。

松阪市よりやや大きなシンガポールで生まれた私は、日本に移住してから世界の広さを実感しました。心を癒せる場所を探しているなら、松阪市をおすすめします！

この先の旅

英語では「All good things must come to an end」という諺があり、これは「どんな良い事にも、終わりがある」という意味です。私の松阪市での時間は2024年で終わることとなります。ここで過ごした2年間は長いように思えますが、振り返ってみるとあっという間でし



松阪市の自然の名所の一つ「香肌峡」

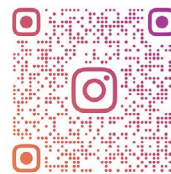
た。可能なら、もう1年続けたいですが、個人の事情で帰国します。今後はこの2年間の経験を活かし、日本に関係ある仕事に携わっていきたいです。松阪市での出会いや思い出はかけがえのないもので、この機会への感謝の気持ちでいっぱいです。



英会話講座の生徒たちとの忘年会でシンガポールクイズを行う様子

秘められたポテンシャル

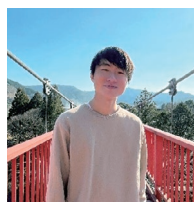
日本には松阪市のようなポテンシャルのある場所が溢れています。近年、あまり知られていない日本の地域を訪れたいリピーターのインバウンド観光客が増えています。今こそ宣伝するのに最適なチャンスかもしれません。松阪市もモニターツアーやSNSを通じて、市の魅力をできるだけ海外の人に広めようとしています。長年の努力のおかげで、市の知名度は徐々に上昇し、インバウンド観光客も増加しました。自分の地域の観光推進で苦労している方は、落胆せず長い目でSNSの発信や企画を行えば、いずれ努力の成果が生まれると信じましょう。そして、自分の地域が秘めたポテンシャルを解き放ちましょう！



VISIT_MATSUSAKA

ぜひ松阪市の公式観光Instagramを見てください！

プロフィール



Jeremy Ang (ジェレミー・アン)

シンガポール出身。ロンドン大学で国際関係を専攻。日本語能力の向上や日本の職場での経験を積むことを目的にJETプログラムに参加。趣味はカラオケ、食事、お酒、寝ること、旅行など。